

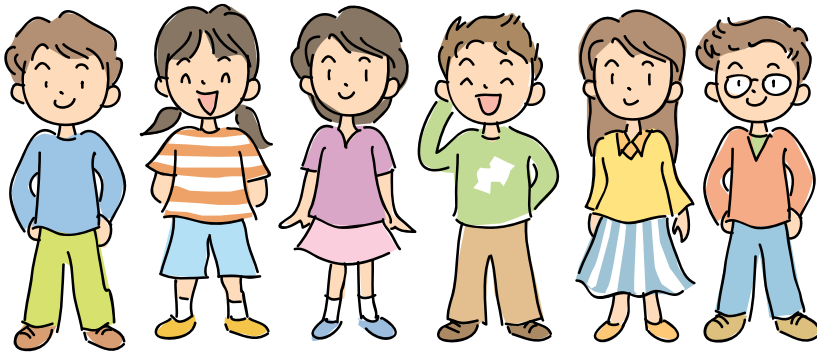
あの子もこの子もみんな友だち

多様性・多文化共生

単元の目標

- 1 一人一人、外見や考え方・感じ方に違いがあることに気づき、受け入れることができる。

(3-⑧多様性・多文化共生)



単元の流れ

時数 ↓ 教科・領域等 ↓

第1次

“おに”って、こわい？

- ・絵本『おにたのぼうし』の読み聞かせを聴いて、外見で人を判断していることはないか考える。

1時間

国語
道徳
学級活動

第2次

友だちのことを知ろう

- ・インタビューをとおして、自分と友達との違いや似ているところを考え、発表する。

1時間

学級活動

第3次

違っていてもいいんだよ

- ・いやだと思ったことや悔しかったことの発表をとおして、人それぞれの違いを肯定的にとらえる。

1時間

学級活動

第1次 “おに” って、こわい？

目 標

- 人を外見だけで判断することはよくないことに気づく。(単元目標 1)

準 備 物

- ・ 絵本『おにたのぼうし』(文・あまん きみこ 絵・いわさき ちひろ ポプラ社)
- ・ 魔法のマイク (『対話ですすめる人権学習』P39)

展 開 【1】

学 習 活 動

1

「おに」と聞いて、思いつくことを出し合う。

- ・ つのがある
- ・ こわい
- ・ 悪いことをする など

2

絵本『おにたのぼうし』の話を聴く。

3

「おにた」に手紙を書く。

4

手紙を発表する。

5

次時の学習について知る。

支 援 及 び 留 意 点

・ 「おに」に対して持っているイメージを自由に発表させる。

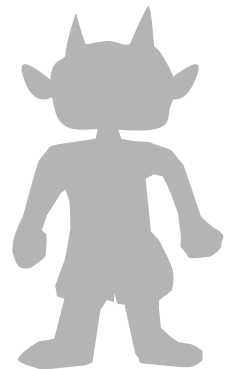
・ 話を聴くポイントを伝えておく。

- ① 「おにた」は、どんな「おに」でしょう。
- ② なぜ、つのかくしていたのでしょうか。
- ③ 「おにた」は、どんなことを思っていたのでしょうか。

・ 手紙の内容を、「魔法のマイク」を使って発表させる。

・ お互いのことをもっと知ることで、友だちのよさに気づく活動をすることを伝える。

評 価 規 準



「おにた」を外見だけで判断することはよくないことに気づくことができる。

【技 能】

ポ イ ン ト

- 「おに」というだけで、「こわい」「わるいやつ」と考えてしまうことから、自分たちも、人を外見だけで判断することがあることに気づかせましょう。
- 「魔法のマイク」を使うことで、自分の言いたいことが安心して言える雰囲気をつくりましょう。

「 あ ら す じ 」

気のいいおにのおにたは、節分の夜、豆まきの音を聞きながら、「にんげんっておかしいな。おにはわるいって、きめているんだから。おににも、いろいろあるのにな。にんげんも、いろいろいるみたいに。」とおもいました。そして、母親が病気で、食べる物もない女の子を助けてあげるために、つのかくす帽子をかぶります。

第2次 友だちのことを知ろう

目 標

- 友だちの話を聞く活動をとおして、それぞれ考え方、感じ方に違いがあることに気づく。(単元目標1)

準 備 物

- 資料①「質問カード」
- ワークシート①「インタビューしよう!」
- ワークシート②

展 開 【2】

学 習 活 動

1

友だちに質問したいことを資料①「質問カード」の中から一つ選ぶ。

2

友だちにインタビューをして、答えをワークシート①「インタビューしよう!」に記入する。

3

インタビューの結果を発表する。

4

友だちの発表を聞いて、自分とずいぶん違っていて驚いたことをワークシート②に書く。

5

次時の学習について知る。

支 援 及 び 留 意 点

- 選んだ質問、自分の答えをワークシート①に書かせる。
- 質問が偏らないように配慮する。
- あらかじめ、インタビューする時間を伝えておく。
- 質問、自分の答え、友だちから返ってきた答えを数人に発表させる。
- 友だちと自分の違いで印象的だったこと、それについて思ったことを書かせる。
- 次時にワークシート②の内容を発表することを伝える。

評 価 規 準

友だちと自分の感じ方や考え方の違いを理解している。

【知 識】

ポ イ ン ト

- 好き嫌い、得意不得意など、人それぞれに違いがあることに気づかせましょう。また、『対話ですすめる人権学習』(P40)のコミュニケーションカードも参考にできます。



「質問カード」

あなたが、いちばんがんばっていることは何ですか。

あなたが、いちばんたいせつにしているものは何ですか。

あなたが、いちばん好きな色は何ですか。

あなたが、いちばん好きなあそびは何ですか。

あなたが、いちばんうれしいのはどんな時ですか。

あなたが、学校の中でいちばん好きな場所はどこですか。

あなたが、いちばんやってみたいことは何ですか。

あなたが、いちばん好きな食べ物は何ですか。

あなたが、いちばん好きなべんきょうは何ですか。

あなたが、いままでよんだ本の中でいちばんおもしろかったのは何ですか。

あなたが、いちばん好きな曜日は何ですか。

あなたが、学校生活の中で、いちばん楽しいことは何ですか。

[2] ワークシート①

「インタビューしよう！」

名前 ()

・友だちへのしつもん

・わたしの答え

・友だちの答え

友だちの名前	答	え	友だちの名前	答	え

[2] ワークシート②

名前 ()

・おどろいたこと

・かんそう

目 標

- 人それぞれの外見や考え方、感じ方の違いを受け入れることができる。(単元目標 1)

準 備 物

- ・ ワークシート ②
- ・ ワークシート ③

展 開 [3]

学 習 活 動

1

第2次で作成したワークシート②の内容を発表する。

2

第1次『おにたのぼうし』の活動を振り返る。

3

人から言われたりされたりして、いちばん嫌なことをワークシート③に書き、思いを発表する。

4

友だちの発表を聞いて、自分の考えを書く。

支 援 及 び 留 意 点

- ・ できるだけ多くの児童に発表させ、生活の具体的な場面を振り返らせる。
- ・ 外見の違いからいやな思いをさせられた、「おにた」の気持ちを振り返らせる。
- ・ 一人一人の願いとして発表させ、自分では平気なことでも、人によっては、いやだと感じることもあることに気づかせる。
- ・ 人それぞれの外見や考え方、感じ方は違っていてもよいということをおさえる。

評 価 規 準

人それぞれの外見や考え方、感じ方の違いを受け入れようとしている。

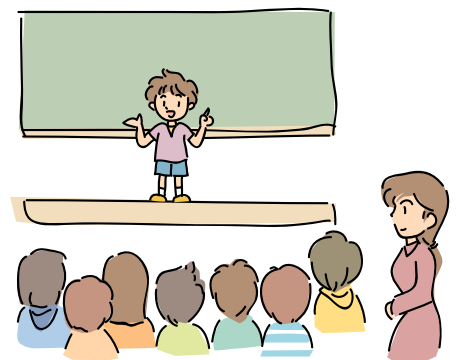
【価値 態度】

ポ イ ン ト

- 違うところはたくさんあっても、同じ学級の仲間であり、違いを認めた上で、よりよい学校生活を送ろうとする態度を育てていきましょう。

[3] ワークシート③

- ・ 言われたり、されたりしていやなこと
- ・ その時のきもち、みんなへのお願い



人権って何？～大切なきまり～

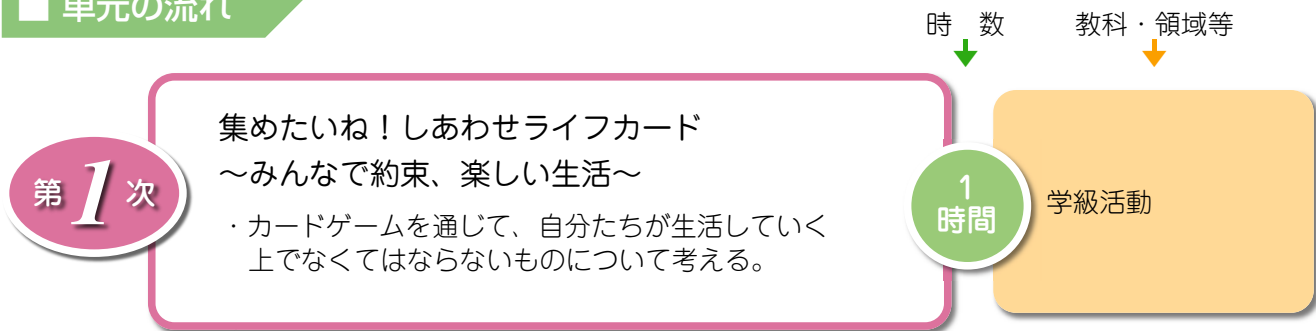
小学校3・4年

人権の意義・内容

単元の目標

- 1 自分らしく生き生き生活できる社会を築くために、みんなで人権というきまりを作っていることを理解する。
(2-④人権の意義・内容)

単元の流れ



この単元は「しあわせライフカード」を使って「世界人権宣言」について知る単元です。カードは、「世界人権宣言」(『気づく・学ぶ・広げる人権学習』P122・P123)を参考に作成しています。カード例は学級の実態に合わせたものにしましょう。



第1次

集めたいね！しあわせライフカード ～みんなで約束、楽しい生活～

目 標

- 自分らしく生き生き生活できる社会を築くために、みんなで人権というきまりを作っていることを理解する。
(単元目標 1)

準 備 物

- ・資料①「しあわせライフカード」
- ・資料②「世界人権宣言」(『気づく・学ぶ・広げる 人権学習』P122・P123)

展 開 【1】

学 習 活 動

1

資料①「しあわせライフカード」を使ってゲームを行い、感想を話し合う。

2

各グループのまとめを全体で発表する。

3

資料②「世界人権宣言」について説明を聞く。

4

どうして「世界人権宣言」が作られたのか、グループで話し合い、発表する。

支 援 及 び 留 意 点

- ※ゲームのすすめ方は別記参照 (P29)
- ・思ったことを率直に話すよう促す。
- ・どのようなカードがあれば、生き生き楽しく生活できるか話し合い、まとめさせる。
- ・「しあわせライフカード」に関連する条項についてわかりやすい言葉で説明する。
- ・自分たちが楽しく生き生き生活するために必要なことが「世界人権宣言」に挙げられていることに気づかせる。

評 価 規 準

楽しく生き生き生活するために人権という決まりが作られていることを理解している。

【知 識】

【1】資料①

「しあわせライフカード」(例)

【 水・食べ物 】 十分ある	【 水・食べ物 】 少しある	【 水・食べ物 】 ほとんどない	【 あらそいごと 】 戦争をしている
【 あらそいごと 】 戦争が始まりそう	【 あらそいごと 】 戦争をしていない	【 家族 】 いっしょに くらしている	【 家族 】 いっしょに くらしていない
【 家 】 とても広い家がある	【 家 】 せまい家がある	【 家 】 住む家がない	【 ひみつ 】 守られている
【 ひみつ 】 守られていない	【 お金 】 十分ある	【 お金 】 少しある	【 お金 】 ほとんどない
【 休み時間 】 たくさんある	【 休み時間 】 少しある	【 休み時間 】 ない	【 意見・考え 】 自由に言える
【 意見・考え 】 自由に言えない	【 遊び 】 好きな遊びが できる	【 遊び 】 好きな遊びが できない	【 勉強 】 学校へ行ける
【 勉強 】 学校へ行けない	【 】	【 】	【 】
【 】	【 】	【 】	【 】



「世界人権宣言との関連」

【水・食べ物】⇒第 25 条

【あらそいごと】⇒第 3 条

【家 族】⇒第 16 条

【 家 】⇒第 25 条

【ひ み つ】⇒第 12 条

【お 金】⇒第 17 条

【休 み 時 間】⇒第 24 条

【意見・考え】⇒第 18 条

【遊 び】⇒第 27 条

【勉 強】⇒第 26 条

すすめ方

・・・・・・・・ (3 人程度のグループ)

- 1 グループ (3 人程度) ごとにカードを裏返して机の上に並べる。
(※カードを色で種類分けしておくとうわかりやすいでしょう。)
- 2 各自一枚ずつ順番にとっていく。
- 3 とったカードを表向けて、自分の机の上に並べる。
- 4 自分がとったカードの感想などを話し合う。

